

部門長告辞

東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門長として、2015年度のリーディングプログラム院生認定式の開催にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

東北大学博士課程教育リーディングプログラムである、「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」の第3期生となる26名、そして「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」の第2期生となる21名の皆さんを、本日こうしてリーディングプログラム院生として認定できることを、大変嬉しく思います。「俯瞰力と独創力を身につけた産学官で活躍できるグローバルリーダーを養成する」という博士課程教育リーディングプログラムに、果敢にチャレンジしようとする皆さんを、心より歓迎いたします。

2012年秋から始まった「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」では、この2月27日(金)にシンポジウムが開催され、第2期生の皆さんのC-Lab研修の成果が発表されました。また、3月12日(木)には、2015年度キックオフシンポジウムが開催されております。第3期生として本日認定される皆さんもこれらに出席されたと思います。

また、2013年秋から始まった「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」では、3月10日(火)・11日(水)に、北海道大学の「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」との合同シンポジウムが開催されました。学外で宿泊しての密度の濃い内容も含むものでしたが、本日認定される皆さんも一部であれ、参加されたことと思います。

このようなシンポジウムに参加することで、皆さんは、先輩方の頑張りに大きな刺激を受けるとともに、自分も大いにやるぞという新たな決意をしたことと思います。また、所属する研究科・研究室の垣根を越え、他分野の方と一体となって学修することを通じて、グローバルリーダーを目指す自覚がいつそう強くなったことと思います。

これから始まる皆さんのリーディングプログラム院生としての生活は、所属

する研究科での学修に加えて、リーディングプログラムの学修や研修もこなす必要がありますので、ハードな毎日になると思いますが、是非、仲間とともに切磋琢磨し、主体的に学び合いながら、皆さん自身が思い描く将来のリーダーとしての“夢”を互いに共有し、実現していただきたいと思います。

リーディングプログラムは、本学が目指す「東北の復興・日本再生の先導」を実現するとともに、国際的に活躍できる指導的人材を育成するための非常に重要な事業であります。大学全体としてもこのリーディングプログラムの目的を実現するために、皆さんを積極的に支援して参りたいと考えています。

最後に、このリーディングプログラムにより、「博士」の学位を取得された皆さんが、将来、グローバルリーダーとして世界のあらゆる場面において活躍し、日本ひいては世界全体の課題解決と発展に貢献できる人材となることを願って、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

2015年4月1日

東北大学 学位プログラム推進機構長

リーディングプログラム部門長

教育・学生支援・教育国際交流担当理事

花 輪 公 雄